

社会の変革を見据えた新たな発展に向けた変革ビジョン
(埼玉大学発展・変革ビジョン)

2020年9月

国立大学法人 埼玉大学

「社会の変革を見据えた新たな発展に向けた変革ビジョン（埼玉大学発展・変革ビジョン）」

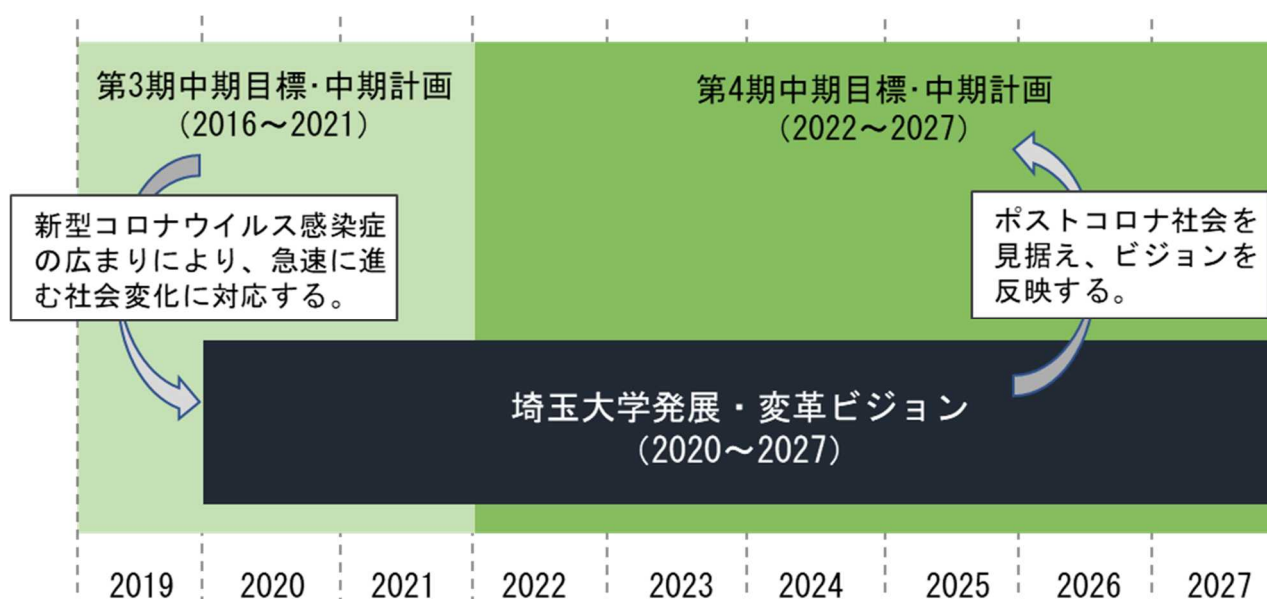
の策定にあたって（趣旨・背景）

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界規模での感染拡大により、生活様式は大きな変容を求められており、これまでとは違った新たな社会のあり方やライフスタイルの構築が喫緊の課題になっています。

埼玉大学においても、このような新たな日常（New Normal）を見据えた教育、研究、社会貢献、国際交流、管理・運営の変革が求められ、このため、既存の戦略・取組に加えて新たなビジョンの策定が早急に必要となり、ここに「社会の変革を見据えた新たな発展に向けた変革ビジョン（埼玉大学発展・変革ビジョン）」を策定いたしました。

本ビジョンは、2016年4月に制定した本学の基本方針で掲げる「知の府としての普遍的な役割を果たす」、「現代が抱える課題の解決を図る」、「国際社会に貢献する」の三つの柱を今日の事態に対応して展開するものであり、第3期中期目標期間（2016年度～2021年度）と第4期中期目標期間（2022年度～2027年度）の両期間を跨ぎ、目前のコロナ禍において喫緊に実施すべき取組とともに、第4期中期目標期間に渡る新たな社会を見据えた取組を内容としております。

なお、本ビジョン自体は、第4期中期目標・中期計画の全てに係るものではありませんが、中長期的な取組の一部は、今後策定される第4期中期目標・中期計画に繋がっていくものとなります。



社会の変革を見据えた新たな発展に向けた変革ビジョン（埼玉大学発展・変革ビジョン）

〔前文〕

埼玉大学は、総合大学として、時代を超えた大学の機能である知を継承・発展させ、新しい価値を創造することを基本的な使命とし、3つの基本方針を掲げています—1. 知の府としての普遍的な役割を果たす。2. 現代が抱える課題の解決を図る。3. 国際社会に貢献する。

今般の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の広まりによって、医療や労働をめぐる問題、格差の拡大、東京一極集中、気候変動など、現代社会の諸課題が顕在化し、新たな価値観に根ざした社会変化の流れが国内外で生まれています。

埼玉大学は知の力によって、これら諸課題の解決にチャレンジします。本学の基本方針に則って、新しい社会の将来像を提示してまいります。

ここに、「社会の変革を見据えた新たな発展に向けた変革ビジョン（埼玉大学発展・変革ビジョン）」を定め、埼玉大学は社会と共に新たな発展を遂げることを目指します。社会の変革に伴って生ずる埼玉大学および社会に係る諸課題を解決するとともに、社会の変革を先導する所存です。

I 果たすべきミッション

1. いかなる社会状況においても学生たちの学びの場を継続するとともに、新たな社会課題の解決の担い手となる人材を育成します。
2. 新たな知の発見・創出と予測不能で激変する社会が抱える課題の解決とを目指します。
3. 新たな脅威に直面する社会に寄り添い、地域社会・行政・産業界・非営利活動団体等と協働し、「知の府」として社会に貢献します。
4. 国際社会の激しい変化に対応しつつ、世界各地域との知の交流を進め、国際社会に貢献します。
5. 急速に進む社会変化を既存業務の変革の好機と捉えて、新たな働き方を確立します。

II 目指すビジョン

教育・学生支援の変革

- 1-1. サイバー空間とリアル空間を融合した教育活動の推進および効果的な学生支援システムの構築等により、学生たちの誰一人取り残すことなく、教育・研究・学生支援を行います。
- 1-2. 社会のデジタル化を見据えた ICT 関連人材の育成を行います。

研究の変革

- 2-1. 新しいツール・システムを活用した機動力ある研究体制の構築を可能にし、基礎研究および応用研究、産学官連携研究、国際共同研究の継続・推進を図り、新たな研究スタイルを創出します。
- 2-2. 予測不能で激変する社会が抱える課題を解決するための知を創出する拠点を構築します。

社会貢献の変革

3. さまざまな活動分野で、地域社会・行政・産業界・非営利活動団体等とネットワークを構築し、ICT の活用を含めた協働により効果的に機能させ、社会が直面する諸課題の解決を図ります。

国際コラボレーションの変革

4. 国際社会の変化に柔軟に対応した、新しい国際共修、国際共同研究、国際貢献、国際交流の仕組みを構築します。

管理・運営の変革

5. 急速に進む社会変化を既存業務の変革の好機と捉えて、組織体制の再構築および徹底した業務の効率化を図り、新たな価値を創造しうる働き方を確立します。

Ⅲ ビジョンを実現するための取組例

教育・学生支援の変革

- ・ 遠隔授業と対面授業の併用による「ハイブリッド型教育」の導入による教育の質的高度化および学修の効率化の推進
- ・ 大学独自奨学金の充実および学生に対するきめ細やかな支援の提供
- ・ 社会のデジタル化を見据えた ICT 関連人材の養成

研究の変革

- ・ 研究スタイルの変革を見据えた研究環境の整備
- ・ 人文学・社会科学・自然科学の分野融合とその成果の社会実装を目指す拠点の整備

社会貢献の変革

- ・ 社会変容に伴う社会のニーズに応えたシンポジウムおよび各種情報の発信
- ・ 地域社会と協働したリスク管理

国際コラボレーションの変革

- ・ ICT 等を活用した新たなグローバル教育・国際共同研究の推進

管理・運営の変革

- ・ リモートワークの導入等による多様な働き方の推進
- ・ 業務効率の向上につなげるための教職員の意識改革
- ・ 新たな価値を創造するための教職協働の更なる推進